

## 東山梨教育協議会「進路教育研究部会」 研究の経過と概要

東山梨教育協議会では、「教科別部会」と「問題別部会」の2部会への所属により、研究を進めてきた。1部会制になり、旧問題別部会の中には希望者が少なく、十分な構成員がいなかったため成立しない部会もあった。進路教育部会もその一つであったが、再開して6年が経過した。キャリア教育の推進が掲げられる中、各中学校からだけでなく小学校からの所属部員も増え研究に広がり生まれつつある。これまで、以下のように小学校・中学校で研究授業を一回ずつ行い、研究を進めてきた。

### 2009年度

「みそ販売プロジェクト」(小6)

「今の自分、これからの自分」(中1)

### 2010年度

「職場体験学習を通じた進路学習」(中2)

「中学校生活を先輩(中1)に聞く会」(小6)

### 2011年度

「受験期を迎えての生活」～学校説明会、オープンスクールに参加して～(中3)

「いつもありがとう」(小2)

### 2012年度

『運動会を成功させよう』『最高学年としての自分、仲間』(小6)

「これからの日本経済の課題」(中3)

### 2013年度

「文明のおこりと日本列島」(中1)

「くらしを支える情報」(小5)

このように、「学級活動」「総合的な学習の時間」だけでなく、キャリア教育の視点に立った教科指導も視野に入れ、研究を進めている。

## 1. 部会テーマ

一人一人にあった、生きる力をつけるためのキャリア教育はどうあるべきか  
～小・中における授業実践を通して～

## 2. 研究経過と予定

5月 7日 組織・テーマの検討

5月21日 春季教研報告

年間活動計画・研究内容について

6月 4日 年間計画検討

授業者決定

8月 4日 夏季学習会

統一授業研究指導案検討

## 入試制度改革アンケート結果検討

- 8月29日 統一授業研究（八幡小・小林淳子教諭）  
研究授業「おはなしをたのしもう～自分の思いや考えを話すことを通して～」
- 10月1日 実践報告  
甲州地区小中学校の実践
- 11月26日 県教研報告  
実践報告  
山梨地区小中学校の実践
- 1月14日 統一授業研究授業案検討  
実践報告（未発表校）
- 2月4日 統一授業研究  
研究授業（勝沼中・辻 純二教諭）
- 2月18日 研究の総括

### 3. 成果と課題

学習意欲の向上や学習習慣の確立のためにキャリア教育を行い、体験的な学習、知識・技能を活用する学習により、勤労観や職業観を育てていく。小学校においても、中学校においても教育活動の様々な場面で「自己有用感（自己肯定感）をいかに育てていくか」がキャリア教育にとって大切な部分である。

『キャリア教育の在り方』について、『4領域8技能』から『基礎的・汎用的能力』へと転換されていることを踏まえ、キャリア教育の視点を取り入れた教科の授業についての研究を行っている。その際、集団における自己の役割を意識させる授業や言語活動を通してキャリア教育で求められていることの実現に向けた取り組みも行っている。

また、小中の連携同様、人間関係の構築や学力保障の点から、中高の連携も今後さらに必要になってくると思われる。高校説明会や高校からの中学校訪問以外にも高校教師と話をする機会を設定していく必要性も感じる。

小学校からの所属部員があり、研究も深まってきている。中学校において各校のキャリア教育の担当が学年主任・副主任という立場であることが多いため、所属部員に学級担任が少なく、授業実践をもとに研究するのが難しい面があった。この点については、キャリア教育の視点を取り入れた教科の指導についての研究を継続的に実施し始めたところである。

また、高校入試課題アンケート結果を活用して、部会の研究で出された意見を中学校からの要望として様々な機会を利用して高校側へ伝えていくことも必要である。

### 4. 研究部会員

指導助言者 鶴田 一路（三富小教頭）

部長 岡村 澄人（塩山北小）

副部長 小林 淳子（八幡小） 辻 純二（勝沼中）

部員 梅本 真弓（塩山中） 三枝比出夫（塩山北中） 古屋 友香（松里中）

富田 照也（大和中） 山下 栄子（勝沼中）

古屋 浩紀（山梨北中） 矢澤恵美子（山梨南中） 小川 寿子（笛川中）

## 第1学年国語科学習指導案

山梨市立八幡小学校 小林淳子

1. 目指す言語能力
  - ・うさぎのことたぬきのこの行動を中心に想像を広げながら読む力
  - ・自分の思いや考えをまとめ、発表する力
2. 単元名                      おはなしをたのしもう
3. 教材名                      ゆうだち

### 4. 単元について

#### (1) 教材について

本教材は、1年生2学期の最初の教材である。登場人物が二人で、起承転結が明確で、物語という文章をわかりやすく学習できる。

#### <起承転結>

起・・思いがけない出会いをする二人

承・・けんか別れをしてから初めて出会い、雨やどりを一緒にする二人

転・・雷のおかげで思わず寄り添った二人

結・・言葉を交わさなくても仲直りをした二人

#### <時や場所等の設定>      木のした

#### <登場人物>                      うさぎのこ、たぬきのこ

#### <中心人物（視点）>        うさぎのこ、たぬきのこ

#### <中心人物の行動エピソード>    ゆうだちがあり、木の下に逃げ込み、仲直りをした

#### <クライマックス・ピナクル>    雷が鳴り、二匹がぴったり寄りそっていた。

#### <中心人物の変化（対比）>      まっくら⇄からりとあかるい

雨・雷⇄ゆうひ

けんか⇄なかなおり

心の暗さ⇄心の明るさ

#### <象徴されている事象（色や出来事等）>    まっくら・からりとあかるい

#### <主題>                              けんかをしてもしなかなおりをすることが大切だ。

児童が話の内容を理解し、自分の体験と結び付けることが比較的容易な内容である。登場人物が体験する夕立・友達とのけんか・仲直り等、どの児童も体験していると思われるからである。

物語の構成を学習した後、感想をもつことの初歩的段階として、お話のどこがすきなのか発表する。そして、登場人物と自分の似ているところや違うところを見つけて、登場人物と自分を比べる。それにより、読書感想の持ち方を学習する。

自分の思いや考えを持っているから、発表ができる。思いや考えを持つために、物語の内容をしっかりと読み取らせたい。そして、思いや考えを言葉で表現（文を発表）するために、例示の文を紹介し、自分の思いや考えを表現し、友達に伝えられるようにしたい。

自分の思いや考えが決まったら、それを認める。「できた」「わかった」という体験を本単元でもたくさん味わうことができるように、丁寧に支援していく。発表する文を決めたら、何度も練習するようにする。そのための手立てとして、「すらすら言えるまで練習」「隣の友だちに聞いてもらって練習」「班員に聞いてもらって練習」等を行う。

話すときの声の大きさについては、日常、「相手に聞こえる声で話すこと」を意識するようにしている。口形については、1学期の単元（「うたにあわせてあいうえお」）で学習している。今後も継続して行っていく。

なお、友達の思いや考えを聞き、感想を伝え交流する学習は、次単元（「おはなしきいて」）で学習予定である。

## （2）意識させたい言語意識

ア 目的意識	自分の思いや考えを伝え合うために
イ 相手意識	学級の友だちに対して
ウ 場面状況意識	友だちと思いや考えを伝え合う場面において
エ 方法意識	自分の思いや考えを文にして
オ 評価意識	話すことができたか

## 5. 児童の実態

男子17名、女子14名、計31名のクラスである。

集中力・発言力・作業の速さ・丁寧に個人差はあるが、学習への取り組みは意欲的で楽しんで学習できている。学習内容の理解や定着にも個人差はあるが、どの子も与えられた課題は、やり遂げようとしている。また、伸び伸びと楽しく生活している児童が多い。当番活動や係り活動を忘れがちな児童もいる。情緒面・行動面に若干の課題を持つ児童もいるが、学校生活に適応している。

1学期から、皆の前に出て発表する機会を作ってきた。形態は、個や二人組で行った。1年生が皆の前に立っても何も言えないのは、言うことがわからなかったり、緊張したりするからである。だから、まずは、決まりきったこと（日直が言う言葉）を言うようにした。

日直以外の発表については、図工の作品発表を中心に進めてきた。自分の手がけた作品だから、自分の思いや考えをもっている。作品への思いや考えを言葉で表現できるように、練習する時間を保障し、安心して発表できるようにしてきた。教室は自分の思いや考えをもち、伝え合い、交流する場でもある。覚えていれば堂々と発表できている。覚えていても言葉が出てこない児童もいるが、自分の席で発表したり、教師と一緒に言ったり、皆の前に立って発表することを次時に行ったりしている。出席番号順に発表を行った。

発表したい人から発表することについては、名文を発表することで行っている。書写の時間に名文を暗唱し、皆の前で発表したい人から順に発表している。スムーズに並び、発表できている。

聞くことについては、前に立って発表している友達を見て、発表を聞いている様子が見られる。しかし、話の大事なことを落とさずに聞くことについては、今後の課題である。

本単元3時までの二匹の様子を読み取る学習で、理由を言う学習活動を行った。多くの児童が言うことができなかった。教師の目指す授業展開が、児童にとって難しい内容となったようだ。4時終了後にアンケートを行った。発表を好まない児童が半数近くいる。発表ができるように、わかる・できる・楽しい授業となるようにしていきたい。

## 6. めざすキャリア教育視点

### (1) キャリア教育で育成すべき力「基礎的・汎用的能力」

人間関係形成・社会形成能力	多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力。
自己理解・自己管理能力	自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力。
課題対応能力	仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力。
キャリアプランニング能力	「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置づけ、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力。

### (2) キャリアに関わる能力

領域	能力	期待される児童の姿
人間関係形成・社会形成能力	友だちの思いや考えを聞くことができる。	友だちの発表を、最後まで真剣に聞いている。
自己理解・自己管理能力	自分の思いや考えをもつことができる。	話題に沿った内容で自分の思いや考えを、まとめることができる。
課題対応能力	文章の内容と自分の経験を結びつけることができる。	文章の内容と自分の経験を結び付けて、考えをまとめている。
キャリアプランニング能力	自分の思いや考えを話すことができる。	まとめた自分の思いや考えを、相手に伝わるように話している。

## 7. 単元の目標

- ◎登場人物の気持ちや行動を効果的に表現している様々な要素を見出し、想像を広げながら読むことができる。
- ◎文章の内容と自分の経験を結び付け、自分の思いや考えを発表したり、想像したことをもとに書いたりすることができる。

### 学習指導要領の項目

#### C「読むこと」

目標 書かれている事柄の順序や場面の様子などに気づいたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。

#### 指導事項

ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。

オ 文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。

B「書くこと」

目標 経験したことや想像したことなどについて、順序を整理し、簡単な構成を考えて文や文章を書く能力を身に付けさせるとともに、進んで書こうとする態度を育てる。

指導事項

ア 経験したことや想像したことなどから書くことを決め、書こうとする題材に必要な事柄を集めること。

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

イ 言葉の特徴や決まりに関する事項

(ア) 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。

ウ 文字に関する事項

(イ) 第1学年においては、別表の学年別漢字配当表（以下「学年別漢字配当表」という。）の第1学年に配当されている漢字を読み、漸次書き、文や文章の中で使うこと。

8. 指導計画

(1) 単元の評価基準

**関** ・登場人物の気持ちや行動を効果的に表現している様々な要素を見出し、想像を広げながら読もうとしている。

**読** ・場面の様子について、登場人物の気持ちや行動を効果的に表現している様々な要素を見出し、想像を広げながら読んでいる。Cウ  
 ・文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表している。Cオ

**書** ・経験したことや想像したことなどから書くことを決め、文にしている。Bア

**言** ・登場人物の気持ちや行動を効果的に表現している様々な要素を見出している。イ（ア）  
 ・教科書に提示された漢字を正しく書いている。イ（イ）

(2) 指導・評価計画

次	時間	学習活動	指導上の留意点	評価基準と評価方法
1	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">学習のめあてを知り、見通しをもつ。</div> ①全文を音読する。	①漢字学習が始まったばかりである。全員が安心して読むことができるように、皆で繰り返し何度も読む。	<b>【関】</b> ・すらすらと音読ができるように、よく聞き、よく見て、音読しようとしている。〔観察〕

		<p>②登場人物を確かめ、お話の大体をとらえる。</p> <p>③「ゆうだち」を読んで感想をお互いに話すことを知り、見通しをもつ。</p>	<p>②場面絵も使いながら、お話の大体を理解できるようにする。</p>	<p><b>【読】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物やお話の大体を理解している。〔発言〕</li> </ul> <p><b>【自己理解・自己管理能力】</b>お話を読み、進んで学ぶ意欲を持つことができる。</p>
2		物語を読み取る。		
	2	④ P92・93（第一場面）を読み、登場人物や場所など、物語の発端を理解する。	④⑤⑥⑦夕立の様子、うさぎのことたぬきのこの関係を叙述に即して考えさせる。	<p><b>【読】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・だれが何をしたかを理解している。〔ノート・発言〕</li> <li>・どんなとき、どんな場所での出来事かを理解している。〔ノート・発言〕</li> <li>・気持ちや行動を効果的に表現している様々要素を見出している。〔観察・発言〕</li> </ul> <p><b>【人間関係形成・社会形成能力】</b>友だちの思いや考えを聞くことができる。</p> <p><b>【自己理解・自己管理能力】</b>自分の思いや考えをもつことができる。</p> <p><b>【課題対応能力】</b>文章の内容と自分の経験を結びつけることができる。</p> <p><b>【キャリアプランニング能力】</b>自分の思いや考えを話すことができる。</p>
	3	⑤ P94（第二場面）を読み、けんか別れた二匹の雨宿りの様子を理解する。	④⑤⑥⑦二匹の役割演技をすることで、行動を読み取るようにする。	
		⑥ P95（第三場面）を読み、雷が鳴ってぴったり寄り添う二匹の様子を読み取る。	④⑤⑥⑦登場人物の気持ちや行動を効果的に表現している様々要素を見つけられるようにする。	
	4	⑦ P96（第四場面）を読み、手をつないで走り出した二匹の様子を読み取る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あわてて口をおさえました。</li> <li>・ぶいとよこをむきました。</li> <li>・ぶりぶりしてわかれたきり、いちども口をきいていません。</li> <li>・あいてのかおをみないようにして、すこしはなれてたちました。</li> <li>・にひきは、ぴったりよりそっていました。</li> <li>・からりとあかるくなりました。</li> <li>・木のしたからとびだすと、てをつないではしりだしました。</li> </ul>	
		⑧お話のすきなところを読む。	⑧お話のすきなところを決められるようにする。文の量や	

	5 本時	⑨「ゆうだち」を読んで自分の思いや考えを話す。	場面の数については、自由とする。 決まらない児童には、決まった児童のすきなところを紹介して、参考にさせる。	<b>【読】</b> ・すきなところを指摘したり、音読したりしている。〔発言・音読〕
	6	⑩木の下から飛び出した二匹がどうしたかを、考えて書く。	⑨二匹と似ているところ（違うところ）を考える。お話の内容と関連する体験を思い出すようにする。例示の文をいくつも提示し、安心して文を決めることができるようにする。	<b>【読】</b> ・文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、話している。〔観察〕
			⑩登場人物の気持ちや行動を効果的に表現している要素を元に、行動や会話を考えるようにする。	<b>【書】</b> ・登場人物の行動等を想像して書いている。〔ノート〕
3	7	漢字の成り立ちを知り、文を書こう。 ⑪ P 99 を読み、漢字の成り立ちを知る。 「木、口、目」の筆順を理解して、文を書く。	⑪漢字の成り立ちの絵を提示し、理解の補助とする。	<b>【書】</b> ・提示された漢字を読んだり書いたりしている。〔ノート〕  <b>【自己理解・自己管理能力】</b> 漢字の成り立ちを知り、進んで学ぶ意欲を持つことができる。

### 9. 本時の学習

(1) 日時 2014年8月29日(金) 14時～14時45分

(2) 場所 八幡小学校1年教室

(3) 本時の目標 「ゆうだち」を読んで自分の思いや考えをまとめ、話すことができる。

(4) 展開

過程	学習活動	指導・支援	評価
導入 15分	1. 漢字の学習をする。	・漢字の覚え方を丁寧に指導する。	



	<p>2. 全文を音読する。</p> <p>3. 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「ゆうだち」を読んで自分の思いや考えをまとめ、話をしよう。</p> </div>		
展開 25分	<p>4. 自分の思いや考えをまとめる。</p> <p>①二匹の行動を確認する。</p> <p>②夕立や雨宿りに関わること・けんかや仲直りに関わることで、自分の体験を思い出す。</p> <p>③二匹と似ているところ(違うところ)を考える。</p> <p>④話す文を決めて、練習する。</p> <p>5. 自分の思いや考えを話す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お話の内容と関連する体験を思い出すようにする。早く体験を思い出した児童に発表してもらい、思い出さない児童の参考になるようにする。</li> <li>・自分の体験と二匹の行動で似ているところ(違うところ)を考えるようにする。</li> <li>・例示となる発表する文をいくつも提示し、安心して文を決めることができるようにする。</li> <li>・皆を見て話をする事、相手を見て話を聞くことを、確認する。</li> <li>・話をする順番は、自由とする。決まらない場合は、譲り合うこと・グループの中で一人ずつ行うこと等、支援する。</li> </ul>	<p><b>【読】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、話している。〔観察〕</li> </ul> <p><b>【自己理解・自己管理能力】</b>自分の思いや考えをもつことができる。</p> <p><b>【課題対応能力】</b>文章の内容と自分の経験を結びつけることができる。</p> <p><b>【キャリアプランニング能力】</b>自分の思いや考えを話すことができる。</p> <p><b>【人間関係形成・社会形成能力】</b>友だちの思いや考えを聞くことができる。</p>
まとめ 5分	<p>6. 自分の思いや考えを話すことができたか振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話をしてみたの感想があれば、発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・頑張ったことを褒めたり、労ったりする。</li> <li>・これからも自分の思いや考えをもって話をする事を学習していくことを予告する。</li> </ul>	

<板書計画>

8 / 29 おとうとと けんかをしたと きは 「ごめんね。」 といって、なかなかおりをしまし た。 なかなかおりでてをつなぐ ところが にています。 ぼくは、てをつないで な かよくするのが すきです。 かみなりがこわいところ がにています。わたしは、 みをふさいでいます。 かみなりはこわくありま せん。そとであそんでいておこ られました。
---

<資料>

◎キャリア教育アンケートから

人数 31名

1. 発表すること

好き	16名	52%
どちらかと言えば好き	5名	16%
どちらかと言えば嫌い	5名	16%
嫌い	5名	16%

2. 発表すること

楽しい	18名	58%
どちらかと言えば楽しい	9名	30%
どちらかと言えばつまらない	2名	6%
つまらない	2名	6%

3. 友達の発表を聞くこと

好き	24名	77%
どちらかと言えば好き	4名	13%
どちらかと言えば嫌い	2名	7%
嫌い	1名	3%

4. 友達の発表を聞くこと

楽しい	23名	74%
どちらかと言えば楽しい	7名	23%
どちらかと言えばつまらない	1名	3%
つまらない	0名	0%

<研究会での意見>

- 1 自分の意見を出すとき、友だちの意見を真似して、自分の意見を発表するやり方でよい。
- 2 輪郭漢字カードがよい。
- 3 発表時、教師の言葉がけが「やってない人に発表してもらいます。」ではなく、「ちゃんとして  
いる人に発表してもらいます。」だった。子ども達がちゃんとやろうという雰囲気になっていた。
- 4 二匹の行動を確認するときに、前時までのノートを開いて、みんなで読んで確認しており、1  
年生でも情報の一つ的手段（資料活用）としてノートを活用できることに驚いた。
- 5 「指さして読みましょう。」「クリーム色を読みましょう。」という指示が、丁寧でわかりやすい。
- 6 「発表できる人は立ってください。」で、子ども達が立ったのに驚いた。発表したい風につなが  
るのだと思った。
- 7 名前を呼ばれると「はい。」と言っていて、一生つながることでもいいことだ。
- 8 厳しさと柔らかさのある対応だった。
- 9 授業の号令が小学校だと「お願いします。」「ありがとうございます。」だが、中学校だと「は  
い。」「終わります。」となる。
- 10 学習規律がよい。
- 11 目立つお子さんが、すごい。
- 12 どんなことに気をつけて対応しているのか？  
→自己肯定感を高められるように、褒めたり励ましたり、教えて褒めることを意識してい  
る。
- 13 聞くことの姿勢も気をつけていた。
- 14 中学校・・・発表苦手。小学校のうちから取り組みたい。
- 15 発表後、満足した表情がいくつも見られた。達成感があつたのではないだろうか。認められ  
たいという気持ちが生徒にも児童にもある。
- 16 メインの評価について・・・苦手な子は真似ができるので、発表できる。得意な子は、文を  
増やして話すことができる。それで評価ができるし、全員が発表できるようになっていた。
- 17 経験はあるのだろうが、どう言えばいいのかわからない。だから、経験を積み重ねればよい。
- 18 復唱させてもよいのではないかと思った。
- 19 声が小さい子・・・3月までに鍛えていきたい。
- 20 4月からの伸びが見られるか？ →見られる。
- 21 教師が「○号車」とグループに名付けていた。よかった。
- 22 苦手な子の発表・・・何人かでやるのもよいのではないか。
- 23 読書量は？ →多い子で100冊。毎日借りている。
- 24 低学年でやったことがうまくつながると、高学年でも多読になる。
- 25 読めることはとても大切。やってもらいたい。中学校では読めないと、やはり大変。
- 26 キャリア教育の視点 自分の意志で立つ。それは決断するということ。前段階で準備して  
いたことがよかった。
- 27 今日の発表は、本当につたないものだが、ここから始まって積み重ねていく中で、中3で花  
開く。
- 28 よく見ることが大切。自分の考えが決まっていな人を見取り、対応していた。

山連教第64次

教育研究集会報告書

東山

## 教科の授業を通してのキャリア教育

国語科

おはなしをたのしもう

～自分の思いや考えを話すことを通して～

18

山連教 東山地区

八幡小学校 小林淳子